

近畿大学病院眼科で間欠性外斜視に対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院眼科（以下、当科）では、「小児の間欠性外斜視に対する偏光 4 ドット検査器の有用性についての検討」という臨床研究を行っています。そのため、当科で間欠性外斜視に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会（<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>）で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、2023 年 6 月から 2024 年 3 月までに間欠性外斜視患者に対して偏光 4 ドット検出器を使用し、斜位時の抑制について調べ、偏光 4 ドット検出器で斜位時の抑制の検出が可能であるか検証することを主な目的としています。偏光 4 ドット検出器を用いた検査で斜位時の抑制の検出が可能であれば今後の小児の間欠性外斜視に対する診断や斜視手術前に行う抑制除去訓練前後の評価に有用であると考えています。そのため、当科で間欠性外斜視に対する治療を受けられた患者様を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

② 利用する情報の項目

この研究の目的は、間欠性外斜視に対する偏光 4 ドット検査器の有用性についての検討することです。そのため、当科で間欠性外斜視患者のうち、2023 年 6 月～2024 年 3 月までに偏光 4 ドット検査器で検査を行った方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者個人が特定されないように匿名化し、個人情報に関しては厳重に管理する。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

なお、以下の情報を電子カルテより取得します。

- ・カルテ情報（年齢、性別、診断名、臨床病期、治療方法、予後に関する情報）
- ・各種眼科検査結果（視力、屈折値、Cover test、複視の有無、斜視角、立体視機能、偏光 4 ドット検査）

③ 利用を開始する予定日

医学部長による実施許可日（2024 年〇月〇日）

④ 利用する者の範囲

指名：日下 俊次 所属・職名：近畿大学医学部眼科学教室・主任教授（研究責任者）

氏名：酒井 邦章 所属・職名：近畿大学病院眼科・視能訓練士

氏名：若山 暁美 所属・職名：近畿大学病院眼科・視能訓練士・技術科長

氏名：歌村 圭介 所属・職名：近畿大学病院眼科・視能訓練士

氏名：成田 竜 所属・職名：近畿大学病院眼科・視能訓練士

氏名：七部 史 所属・職名：近畿大学医学部眼科学教室・講師

氏名：西田 功一 所属・職名：近畿大学医学部眼科学教室・助教

氏名：沼田 卓也 所属・職名：近畿大学病院眼科・非常勤医師

⑤ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。なお、論文発表後は利用の停止が出来兼ねますのでご了承ください。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院眼科 酒井 邦章

電話：072-366-0221（内線：2216、2217） FAX：072-366-0021

以上